

音楽Ⅱ・音楽Ⅲ・総合芸術選択生へ⑤

音楽科 古川

調①

5回目は、**調**についてです。徐々に内容が難しくなっていきますが、音楽の基礎知識ですので今のうちにしっかり理解しましょう。難しく感じるかもしれませんが、自分の言葉で説明できるようになることが大事です。ピアノを弾いたことがある皆さんは分かると思いますが、調は前回の長音階と短音階を合わせると30個(長音階15個、短音階15個)あります。12個ではないのかと疑問に感じたあなたは**異名同音**を忘れてますよ。含めて15個ずつ、計30個の音階があり、その**調**について理解が必要です。

1. 調と調名

長音階あるいは短音階が、特定の音を主音とするとき、特定の**調**ができます。そして、その主音の音名と音階の名称が組み合わされて調の名称、すなわち**調名**とされます。

長音階の調は 長調(dur 独、major 英)

短音階の調は 短調(moll 独、minor 英)

といい、調名はこれらに主音の音名を組み合わせたものです。

Cを主音とする長調は ハ長調(Cdur、Cmajor、またはC:)

Eを主音とする短調は ホ短調(emoll、Eminor、またはe:)

(注)口音、変口音を主音とする調の書き方には注意すること。

口短調(hmoll、Bminor、h:) 変口長調(Bdur、Bb major、B:)

Durの主音名には大文字、mollの主音名には小文字のアルファベットを用います。

英語の major、minor は義務教育で既習済みなのでここでは割愛します。

教科書 P144にはコードとして書かれていますが、長調、短調を英語にただけです。私の授業ではドイツ式なので英語は使いませんが、理解はしておいてください。

では、練習問題です。

1) 次の音を音階の第VII音とする長調の音名を書け。

これが分からなかった人はいないと思いますが、順に考えれば**答えは Fis(嬰へ)**ですね。問題では上記の音がVII音だと指定されています。ということはこの音は導音になるわけだから、次の音が主音です。まずこの音がか分からない人は教科書 P140 を読んで理解しましょう。

音部記号はト音、ハ音、へ音を基本的に使います。

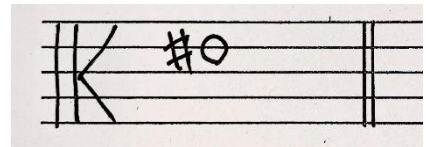
音部記号については1年次の授業で説明しました。

ハ音記号は線の交わりがハ音、つまりドですから、上記の楽譜はミ#ということです。導音と考えれば主音は半音上になります。つまり、ミの#はファの位置になるので主音はファ#、問題は「音名を書け」なので Fis(フィス)または嬰へが答えです。大学入試ではあえて問題が「日本音名で」と指定される場合があります。その場合、ドイツ式では点はありません。何も指定がない場合、通常ドイツ式で答えます。

この問題では主音を答えただけですが、入試では音階を書く問題が多いです。もしも「音階を書け」ならば、下記のようになります。

[Fis dur ← クリック](#)

ファ ソ ラ シ ド レ ミ ファ



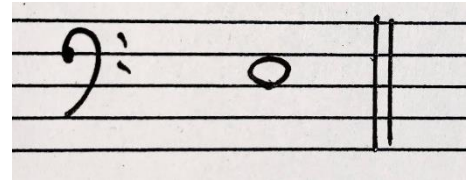
音部記号には、ト音記号(♩), ハ音記号(♮), へ音記号(♭)の3種類があり、置かれた位置によっていろいろな譜表を表す。

ト音記号	ハ音記号	へ音記号	
高音部譜表	アルト譜表	テノール譜表	低音部譜表

○は各譜表でのハ音

2) 次の音を音階の第VI音とする短調の調名を書け。

ただし、この音は和声短音階のものとする。

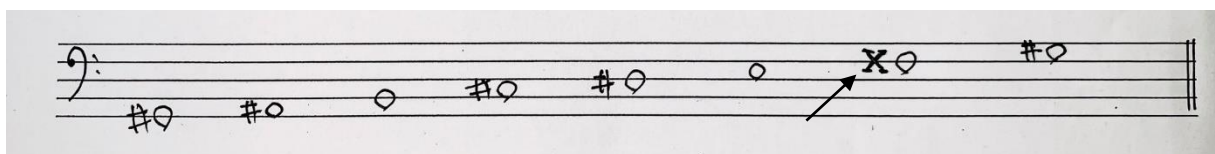


答えは gis moll (嬰ト短調) です。

VI音と指定された右の音はミですね。ということは、主音は2つ先なのでソになります。ソから始まりVI音がミになる短調を考えます。この時点で#の調だとわからなければなりません。なぜなら、指定の音はVI音で和声短音階であり、旋律短音階ではないので半音上げられていない幹音です。bの調であればミには確実にbがつきます。bの付く順が「シミラレドファ」だからです。この問題は短調なので指定が多いです。ソから始まり、VI音がミ、最後のソの前は導音で半音関係、なのでもしもソならば導音はファ#です。しかし今回VI音がミなので前回の短音階の和声短音階を思い出すと、VI音とVII音は増2度関係でなくてはならない。ミの増2度上はファのダブルシャープです。ファのダブルシャープが導音ならば主音は半音上なので、ソの#が主音で確定です。

次に考えるのは「#はどの音につくのか」ですが、これは長音階と短音階を理解していれば考えなくても分かります。ソ#が短音階の主音ならば、短3度上の音が長音階の主音です。ソ#の短3度上はシ(H)なので Hdur(ロ長調)を考えます。#の付く順は「ファドソレラミシ」ですね。便利な覚え方を教えます。#の数ごとに調名の頭文字を日本音名で考えます。**#公式「トニイホロヘ」**です。何回も呟いて覚えて下さい。公式で Hdur(ロ長調)は5番目ですね。つまり#は5つ付くということです。長調と短調は短3度違いのペアであり、調号は同じでなければならないので、#が5つあり、ソの#から始まる和声短音階なので gis moll(嬰ト短調)になるわけです。音階として書くと下記のようになります。

[gis moll ← クリック](#)



ソ ラ シ ド レ ミ ファ ソ

次回は各調の音階と調号についてです。